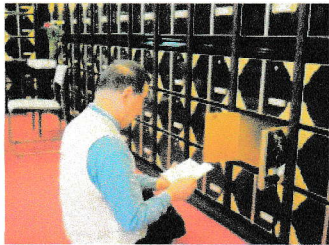


今月の寺ともさん 植松 正志 さん



今月の寺ともさんは、植松正志さんです。植松さんは、2年前に奥様を亡くされました。それまで約10年ほど闘病なさいました。葬儀を終え、初七日が終わり、遠方の息子と近くに住む娘も帰って行ってしまうと、心が折れそうになったそうです。四十九日の法要も済ませて、一人ぼっちになったら何をしようか、そればかり考えるようになりました。あれこれ考えるけれども、何も実行に移せずにオロオロしたそうです。そこで植松さんは、徳成寺の納骨堂に奥様の遺骨を納められ、ほぼ毎日お参りするようになり、いつしかになりました。昨年来られなかったのは、年間通じて10日ほどだったそうです。今年はまだ1日もお休みしていません。納骨堂にお参りして読経し、自宅の仏壇で毎朝毎晩読経するので、合計3回の読経が日課です。納骨堂の帰りに、ほんの1~2時間近くの海に釣竿を垂れて散歩します。タコ釣り専用の道具を使って、釣ればよし釣れなくてもよしです。滅多に釣れないタコですが、3月末の春の法要の前日に釣れたものをお供えとして頂きましたので、おとぎのワケギ和えの具に致しました。コリコリと美味しかったですね。毎日娘か孫から電話がかかるそうです。「じいちゃん、今日はばあちゃんどこ行ったんか?」と言ってくれます。ただ一つの心残りは、生前に奥様を納骨堂の見学に連れて来てあげて「ここに納まろうね」と言えなかったこと。でも毎日の納骨堂のお参りが心のやすらぎであり、生活の支えなのだそうです。これからも亡き奥様との対話を続けて下さいね。

***** ご自慢のペットちゃん *****



名前：ネコちゃん
性別：♀
お年：6歳
種類：MIX
好物：ペットフード
苦手：犬
住所：千代さん宅(高松市)
性格：わがまま



ご自慢のペットちゃん
募集中だにゃん!

エピソード：ニャーニャーと呼ぶと、やって来る猫を、奥さまはネコちゃんと呼びます。一日の外出時間は、たいてい6時間ぐらいです。いつも夜10時頃帰るのですが、夜中の1時頃にニャーと鳴いて帰って来て困ることがあるそうです。窓の外の手すりにスズメが止まっていると、網戸があろうとジャンプしてアタックしたりします。ふすまとお風呂マットがネコちゃんの爪とぎになっていますが、カワイイので癒されています。

***** 総代さん便り *****

総代の松本です。五月五日兄弟姉妹ら10名で、仏生山公園へのつつじの花見に出かけました。晴天の中つつじが見事に咲いていました。10年続いているこの行事に、90歳の叔父も元気に参加してくれました。

今年は平成から令和へと変わりゆく年、新しい時代の風を感じながらお弁当に舌鼓を打ちました。こんな何気ない日常の暮らしが有難いなあと思え、一日一日がかけがえのないものなのだという気持ちが湧いてきました。

